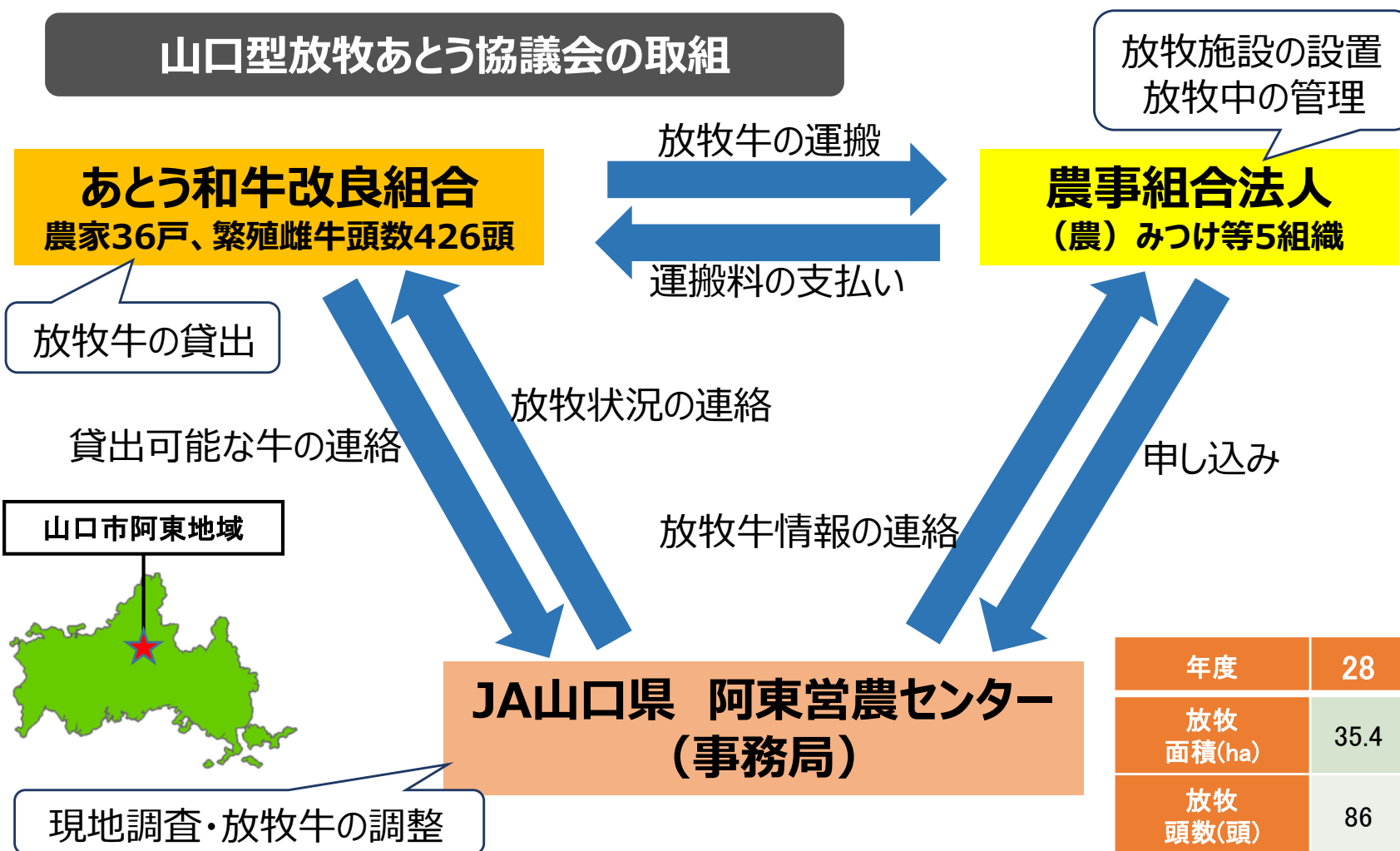


【放牧】（山口県 山口型放牧あとう協議会）

- 阿東地域では、ほ場管理が困難な水田には景観作物を栽培していたが、平成22年から簡易に農地を管理する方法として、電気牧柵等を設置し牛を放牧する山口型放牧を開始。
- 平成25年、耕畜連携が円滑に行えるよう、JA山口中央が中心となり、あとう和牛改良組合と農事組合法人を構成員とする「山口型放牧あとう協議会」を設立。毎年4月の現地検討会において、法人の飼料作物生育状況の確認、放牧牛の選定や放牧期間を決定。また、毎年11月には1年間の実績を取りまとめ、次年度に向けた取組について協議。さらに研修会を開催し、現地検討会や反省会の参考とするため、テーマを決めた情報交換を実施。
- 令和2年度の放牧面積は23.1 ha、放牧頭数は44頭、肉用牛経営の省力化や遊休地の解消による農地保全に貢献。

山口型放牧あとう協議会の取組



現地検討会



研修会

年度	28	29	30	R1	R2
放牧面積(ha)	35.4	27.7	26.1	23.1	23.1
放牧頭数(頭)	86	58	57	42	44